

安全データシート（SDS）

1. 製品及び会社情報

製 品 名 : エクセレンス 1
製 造 者 : 株式会社オートビジネス
住 所 : 657-0035 神戸市灘区友田町 1-5-5
T E L : 078-858-9901
F A X : 078-858-9904
W E B : <http://www.autobusiness.jp/>
改 訂 日 : 2026.02.24
発 行 日 : 2023.07.17

2. 危険有害性の要約

化学品の分類および表示に関する世界調和システム

生殖細胞変異原性 : 区分 2

水生環境有害性（慢性） : 区分 3

予防措置を含むラベル要素

使用上の注意を含む警告表示 :



注意喚起語 : 警告

危険有害性情報 :

-H341 : 遺伝性疾患のおそれの疑い。

-H412 : 長期的影響により水生生物に有害。

注意書き :

予防

-P201 : 取扱説明書を入手すること。

-P202 : すべての安全注意事項を読み理解するまで取り扱わないこと。

-P273 : 環境への放出を避けること。

-P280 : 保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。

応急措置

-P308+P313：ばく露またはそのおそれがある場合は、医師の診断／手当てを受けること。

保管

-P405：施錠して保管すること。

廃棄

-P501：内容物／容器を地方／地域／国／国際規則に従って廃棄すること。

3. 組成および成分情報

成分名	C. A. S. 番号	含有量(%)
水	7732-18-5	60-70
グリセリン	56-81-5	1-10
モルホリン	110-91-8	<1
1,2-ベンゾイソチアゾリン- 3-オン	2634-33-5	<0.1
酸化アルミニウム	1344-28-1	5-15
水素化軽質留分	64742-47-8	15-25
ホワイ トミネラルオイル	8042-47-5	1-10

4. 応急措置

応急措置

以下の応急措置は、適切な個人衛生および作業衛生管理が実施されていることを前提としています。

眼に入った場合：多量の水で十分に洗い流してください。症状が続く場合は医師の診察を受けてください。

皮膚に付着した場合：石けんと水で洗い流してください。症状が現れた場合は医師の診察を受けてください。

吸入した場合：速やかに新鮮な空気のある場所へ移動させてください。直ちに医師の診察を受けてください。

飲み込んだ場合：医療関係者の指示がない限り、吐かせないでください。水で口をすすいでください。意識のない人には口から何も与えないでください。医師の診察を受けてください。

5. 火災時の措置

適切な消火剤：

小規模火災：粉末消火剤、二酸化炭素（CO₂）、水噴霧または耐アルコール性泡を使用すること。

大規模火災：水噴霧、水霧または耐アルコール性泡を使用すること。

引火点：95℃以上

自然発火温度：データなし

爆発下限界（LEL）：データなし

爆発上限界（UEL）：データなし

化学物質から生じる特有の危険有害性：

熱分解により一酸化炭素およびその他の有毒蒸気が発生する可能性がある。

消防士のための特別な保護具および注意事項：

認可された陽圧式自給式呼吸器および消防用防護服を着用すること。

火災の熱により可燃性蒸気が発生する可能性がある。空気と混合し着火源に触れると、開放空間では燃焼し、密閉空間では爆発する可能性がある。

蒸気は空気より重く、地面を長距離移動した後に引火し、蒸気発生源へ逆火する可能性がある。微細な噴霧やミストは引火点未満の温度でも可燃性となる可能性がある。安全な距離または防護された場所から消火すること。

熱により密閉容器内の圧力が上昇し、容器が破裂して燃焼し、火傷や負傷の危険が増大する可能性がある。

冷却のため水噴霧または水霧を使用すること。泡立ちや蒸気爆発を避けること。燃焼中の液体は水面に浮く可能性がある。

水溶性ではあるが、水による希釈での消火は実用的でない場合がある。液体が下

水や公共水域に流入した場合は、直ちに関係当局へ通報すること。

6. 漏出時の措置

人体保護のための措置および保護具

粉じん、ガス、ミスト、蒸気、スプレートの吸入を避けること。

記載されている注意事項に従うこと。

汚染区域を隔離すること。

適切な保護具を着用していない者は立ち入らせないこと。

すべての着火源を除去すること。

適切な保護衣を着用せずに、損傷した容器やこぼれた物質に触れないこと。

環境保護措置

環境中へ放出しないこと。

水路、下水道、地下空間などの閉鎖空間への流入を防止すること。

封じ込めおよび浄化の方法

不活性吸収材（乾燥砂や土など）で吸収し、適切な廃棄容器に回収すること。

吸収後、汚染された区域を洗剤と水で洗浄すること。

大量漏出の場合は、溝を作るなどして拡散を防止すること。

少量漏出の場合は、砂などの不燃性吸収材で吸収し、容器に回収すること。

7. 取扱いおよび保管

取扱い

ガスの吸入を避けること。目、皮膚、衣類との接触を避けること。容器は密閉しておくこと。

十分な換気のある場所でのみ使用すること。適切に換気されていない密閉空間には立ち入らないこと。

保管

容器に直接火炎を当てないこと。直射日光の当たる場所や、120° F（約 49℃）を超える高温にさらさないこと。

容器を落下させたり、再充填しないこと。熱、火花および火炎から遠ざけて保管すること。

8. ばく露防止および個人保護措置

設備対策

使用後は、適切な局所排気装置を用いて取り扱うこと。

個人用保護具（PPE）

眼／顔の保護

蒸気、ミスト、スプレーとの目の接触を避けること。

推奨される保護具：サイドシールド付き保護眼鏡。

皮膚の保護

皮膚との接触を避けること。

呼吸用保護具

ガスの吸入を避けること。

誤飲防止

本製品使用中は飲食または喫煙をしないこと。

9. 物理的および化学的性質

臭気、色調、状態：わずかな臭気、アイボリー色、クリーム状の粘性液体

一般的な物理的形状：液体

自然発火温度：データなし

引火点：95℃以上

沸点：データなし

爆発下限界（LEL）：データなし

爆発上限界（UEL）：データなし

粘度：5500～6500 cps

蒸気圧：データなし

比重 : データなし
pH : 7.5~8.5
融点 : データなし
水への溶解性 : 可溶

10. 安定性および反応性

安定性 : 加熱条件下でも安定

危険有害な重合 : 発生しない

危険有害な分解生成物 : 熱分解により、フッ化水素、塩化水素、一酸化炭素、二酸化炭素および塩化物が生成する可能性がある。

11. 有害性情報

想定されるばく露経路に関する情報

吸入ばく露 : 刺激、頭痛、眠気、めまい、見当識障害。

経口ばく露 : 刺激、嘔吐、頭痛、めまい、見当識障害、肺うっ血。

皮膚ばく露 : 軽度の皮膚刺激を引き起こす可能性がある。本液体は皮膚の脂分を除去する作用がある。

眼ばく露 : 軽度の眼刺激を引き起こす可能性がある。

12. 環境影響情報

生態毒性情報 : 未確定。

化学物質の環境中での挙動（運命）に関する情報 : 未確定。

13. 廃棄上の注意

可能な場合は回収、再利用またはリサイクルを行うこと。
国、都道府県および地方の法令・規制に従って廃棄すること。

14. 輸送情報

国連番号 (UN No.) : 該当なし
正式輸送品名 : 該当なし
輸送危険物クラス : 該当なし
容器等級 (該当する場合) : 該当なし

本製品は IATA 規則および IMDG 規則に違反しない。

輸送に関して使用者が認識または遵守すべき特別な注意事項 :
出荷前に容器の破損、腐食、漏れがないことを確認すること。
落下、転倒、崩壊を防止するよう適切に積載し、貨物の損傷を防ぐこと。
関連法令および規則に従い、内容物を明示した適切な容器で輸送すること。

15. 法規制情報

労働安全衛生法

名称等を表示すべき危険物及び有害物 (法第 57 条第 1 項、施行令第 18 条第 1 号、第 2 号別表第 9)

名称等を通知すべき危険物及び有害物 (法第 57 条の 2、施行令第 18 条の 2 第 1 号、第 2 号別表第 9)

鉱油 (政令番号 : 168) (1%-10%) (営業秘密)

労働安全衛生法 (令和 6 年 4 月 1 日以降)

名称等を表示すべき危険物及び有害物 (法第 57 条第 1 項、施行令第 18 条第 1 号～第 2 号別表第 9)

名称等を通知すべき危険物及び有害物 (法第 57 条の 2 第 1 項、施行令第 18 条の 2 第 1 号～第 2 号別表第 9)

鉱油 (政令番号 : 168) (1%-10%) (営業秘密)

毒物及び劇物取締法
非該当

化学物質排出把握管理促進法（P R T R 法）
第 1 種指定化学物質（法第 2 条第 2 項、施行令第 1 条別表第 1）

消防法
海洋汚染防止法

指定可燃物 可燃性液体類
油性混合物（施行規則第 2 条の 2）
有害液体物質（X 類物質）・油性混合物（施行令別表第 1 第 1 号イ（8 1））
有害液体物質（Y 類物質）（施行令別表第 1）
有害液体物質（Z 類物質）（施行令別表第 1）
有害液体物質（Y 類同等の物質）（環境省告示第 1 4 8 号第 2 号）

16. その他の情報

本記載内容は、現時点で入手できる資料、情報データに基づいて作成されており、新たな知見によって改訂される事が有ります。また、情報の正確さ、完全性を保証する物ではありません。注意事項は通常取り扱いを対象とし、特殊な取扱いはご使用者の責任において安全対策を実施してください。

本データの記載内容は、その製品を代表する値であり、保証値ではありません。